



JORNAL NIKKEY SHIMBUN
DIRETOR PRESIDENTE RAUL M. TAKAKI
JORNALISTA RESPONSÁVEL TAKAO MIYAGUI
Rua da Glória, 332 - Liberdade
CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil
Tel (11) 3340-6060 | www.nikkeishimbun.jp

上院が緊急PECを承認



3日の上院 (Fabio Todrigues Pozzebom)

上限は440億レアルに 下院を通ればMPを発令

3日と4日、上院はコロナウイルス対策で、昨年引き続き、2021年も緊急支援金を支給するための憲法改正法案(PEC)を審議し、2度の投票の末、正式に承認した。同PECは今後、下院に回され、支給期間や支給額などの詳細を詰めることになっている。下院での審議も最優先扱いされる予定で、詳細が承認されれば、大統領の裁可後に支給がはじまる。4日付伯字紙、サイトが報じている。

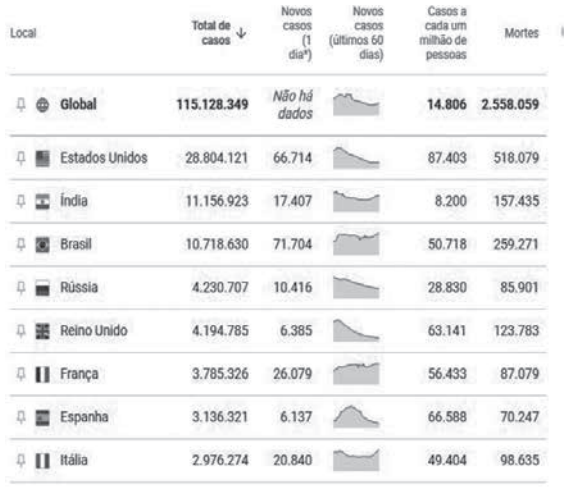
「250レアル4回案」か?

上院は当初、3月下旬からの緊急支援金支出開始を目指し、先週のうち緊急PECの投票を行う予定だった。だが、各政党の思惑が食い違ひ、政党リーダーの話し合いでも決着がつかず、審議と投票が今週にもつれこんだ。

死者1910人で新記録

新規感染者は全世界の25%

新型コロナウイルスの感染再燃は衰えず、3日は1日の死者が1910人(保健省統計、メディア集計では1840人)増え、2日に記録した1726人(メディア集計、保健省統計は1641人)と、この新記録を再更新。新規感染者は保健省統計で7万1704人(メディア集計は7万4376人)で、7日間の平均は1071万8630人、7日間の平均は5万6310人/日は2週間前より49%多い。メディア集計の死者は25万9402人で、感染者は1072万2221人だ。感染者総数は米国、インドに次ぐ3位、死者総数は米国に次ぐ2位だ。3日は7州で死者が



感染者と死者の毎日の推移(上から、保健省公式サイト)

1000人を超えており、聖州やリオ州が規制強化を発表したが、この動きは世界的なもので、レズ・トラン経営者らの抗議行動も起きている。1日に保健省が明らかにしたバイア州のルイ・コスタ知事が「48時間営業を止める」との命のどちらかを選択せよと迫られた。訴える場面も見られた。パンデミックが経済成長を妨げている事やワクチン接種が唯一の打開策である事はデレス経済相も早い時期から認めて

予防接種効果はいつ表れる?

バネラソンも起きました。保健省は死者が新記録を再更新した3日にやつと、ファイザー社とジョンソン・ジャクソン社購入を決めた。1月17日に2種類のワクチンの緊急使用が認められ、全国的にワクチン購入が容易にする法律案を承認、最高裁も自治体によるワクチン購入を認めたため、全国的市長達にワクチン購入を決める共同団体を創設し、参加者を募集し始めた。創設予定日は22日、現在は法廷審理中だ。4日に有効成分8200リットルも届いたが、聖州のドリア知事は接種を加速化するため、ファイザー社とロシア製のワクチン各2千万回分の購入も決めている。

必要などが生じた場合に、通常の枠の外で認められる支出をカバーするためのもので、上限は1億レアルとされている。ただし、この資金を利用するための特別措置を講じることができないのは国だけだ。3日の審議では、81人の上院議員、62人の賛成(反対は16人)を得て、1回目の承認が行われた。そして翌4日、第2回目の投票が行われ、この度も62対14で本文を承認。その後は修正動議1件を否決して、同PECの審議を終えた。同PECは今後、下院に送られることとなるが、アルトゥール・リラ下院議長は既に同PECに直接本会議をかけるとの意向を表明済みだ。下院でPECの内容に変更が加えられるようなことがあれば、下院での審議後、上院で再度の審議

ボルトナロ大統領が1月17日にブラジルの富裕地区に購入した物件の仲介人として人物の妻が、ラシャジャニア疑惑の裁判でフラヴィオ・サキス氏に有利な判決を下した連邦高等裁(STJ)に得るから、接種後も警戒は緩められない。国の対策が後手後手となる中、連邦議会がワクチン購入を容易にする法律案を承認、最高裁も自治体によるワクチン購入を認めたため、全国的市長達にワクチン購入を決める共同団体を創設し、参加者を募集し始めた。創設予定日は22日、現在は法廷審理中だ。4日に有効成分8200リットルも届いたが、聖州のドリア知事は接種を加速化するため、ファイザー社とロシア製のワクチン各2千万回分の購入も決めている。

3日に行われたサッカーの聖州選手権。第2節で早くもやってくれた伝統的なコリド、イタケパン、メイラス戦は、前半の内に4本のゴールが決まるシュートの打ち合いの末、2-2で引き分けた。聖州選手権は6日から外出自粛規制が強化されるが、週末の次節も含め、今のところ、中止の声は聞かない。

この両氏は1月に、ボルトナロ大統領が木曜日のネット上で生放送を行った際、SNSに批判的な投稿を行ったが、それをみたボルトナロ氏は「職場にあたる」として、今回のような判断を下した。同件に関しては、教育省も、ボルトナロ大統領支持派の連邦

豪邸購入の仲介人に新事実 妻が「疑惑の判事」の元部下

ボルトナロ大統領が1月17日にブラジルの富裕地区に購入した物件の仲介人として人物の妻が、ラシャジャニア疑惑の裁判でフラヴィオ・サキス氏に有利な判決を下した連邦高等裁(STJ)に得るから、接種後も警戒は緩められない。国の対策が後手後手となる中、連邦議会がワクチン購入を容易にする法律案を承認、最高裁も自治体によるワクチン購入を認めたため、全国的市長達にワクチン購入を決める共同団体を創設し、参加者を募集し始めた。創設予定日は22日、現在は法廷審理中だ。4日に有効成分8200リットルも届いたが、聖州のドリア知事は接種を加速化するため、ファイザー社とロシア製のワクチン各2千万回分の購入も決めている。

CGUは、二人が使ったのは大学が開設したデジタルツールやフェイスブックで「職場にあたる」として、今回のような判断を下した。同件に関しては、教育省も、ボルトナロ大統領支持派の連邦

大統領批判で元学長ら告発

ボルトナロ大統領を批判する発言を大学のSN学長らが、国家総検閲庁に告発した。ボルトナロ大統領を批判する発言を大学のSN学長らが、国家総検閲庁に告発した。ボルトナロ大統領を批判する発言を大学のSN学長らが、国家総検閲庁に告発した。

2日付の連邦政府官報によると、ペロタス連邦大学元学長のペドロ・ロドリゲス・クリ・アラリスと、憲法違反で告発された。CGUは二人の行為は対憲法違反で告発された。CGUは二人の行為は対憲法違反で告発された。

東西南北

6日午前0時より、聖州全域でコロナウイルスの外出規制が最低のレベルとなる。これで最低限の商業活動のみしかできないようになった。このところ連日のように、「死者、感染者が過去最大

3日に行われたサッカーの聖州選手権。第2節で早くもやってくれた伝統的なコリド、イタケパン、メイラス戦は、前半の内に4本のゴールが決まるシュートの打ち合いの末、2-2で引き分けた。聖州選手権は6日から外出自粛規制が強化されるが、週末の次節も含め、今のところ、中止の声は聞かない。

低所得者用物件の発売減少 資材高騰で価格上限を超え
新型コロナウイルスの感染拡大後、家屋の改修や小規模な家や事務所への転居など動きがみられるようになったが、連邦政府の持ち家政策の「カーザ・ヴェルデ・エ・アマラ(CAVA)」と呼ばれる、月収2千レアル以下の世帯向けの物件を建てるのは特に困難になっているという。これにより、従来はグループ1用の家屋を手掛けていた建築会社は、建設中の家屋を月収2千レアル以下の世帯向けにするグループ2向けに振り向けるなどの方針転換を迫られている。対象とするグループを取り替えば、建設会社や不動産屋は予定していた家屋を売出す事ができるが、購入する側は価格が上昇すれば希望する物件に手が届かなくなる。資材高騰とそれに伴う価格上昇の影響を最も受けるのは、月収が少なくてもグループ2の人々だ。2月までの12カ月間で見た全国建設コスト指数(INCC)は10.2%上昇。資材の高騰は、ドル高のせいや原材料の入手が困難になって、生産活動が縮小した事などが影響している。

前版大好評 全巻売り切れ!!
日本語とポルトガル語の勉強にすぐ便利
面白くて分かりやすい
画像付き日常生活の会話
日本語一別、辞書付き
日本の生活ガイドにも
o Jeitinho no Japão para os brasileiros
ブラジル人のためのニッポンの真実
ご注文・お問い合わせ先
詳しくはニッケイ新聞社 11-3340-6060 担当マリアまで
ニッケイ新聞社 11-3340-6060
本陽堂 11-3208-6588
フォノマギ竹内書店 11-3104-3399

# のうそん誌半世紀の歴史を幕

## 終刊時でも読者800人

農村に住む人のために発行された「のうそん」(日伯農文化振興会発行、責任者「永田久」)が、289号(2018年7月)を最後に終刊となり約50年の歴史に幕を下ろした。電話取材に応じた永田久氏(88、栃木県)は「最後のほうには読者は800人くらい」と振り返った。



2017年ブラジル力行会館のイベントで挨拶した永田久氏(学校法人力行会総務部長の田中直樹氏提供)。創刊当初は日伯毎日新聞で印刷していたが、久さんが印刷機を買って、製本機を手製し、印刷や製本も自分で行ってきた。

美知子さんは「主人も私も高齢で仕事が多くなってきた」と語り、同刊は責任者の野田久さん(90歳、長子)と妻の美知子さん(80人)が、1千部を2人で製本し続けてきた。終刊時でも読者は800人おり、1千部を2人で製本し続けてきた。



「のうそん」バックナンバー

「農村のために」と始まった「のうそん」も次第に農村から都市に移り住む人が増え、読者の生活様式にあわせて「生活に役立つ記事」を掲載してきた。終刊の頃には「都市部の人が読者の中心となっていました」と振り返る。

久さん、美知子さんの高齢により終刊に至った。2人のみで発行作業を続けていただけに後継者を確保できなかった。

「おそろくこれがやれ」を掲げた。3日、聖州のコロナウイルスの最新規制を聞いて「コロナはそう思った」と振り返る。

大を受けての、州全域を覚悟で行われる集団(規制最低の)赤レベルイベントは防げるだろう。この状態でもなお、強行して人の群れを作ったこのコロナ禍がいつまで続くのか、経済的打撃がいつまで続くのか、商業関係者も少し延長するにしても、もう2週間、が限界だ。

だが、そのダメージがわかってしまえば、連邦政府の緊急支援金さえ昨年ほど出せないことがわかっていける。健康も大事だが、金があれば生活は無理だ。ただ、「2週間」に限ると、学校や教会も同様中止すべきだった。

「うちの店は入場者を少なく規制して、社会的距離も守りつつ営業している。それなのになぜ自分たちが営業中止にならなければならないのか。何倍も人が集まる学校や教会が許されるのか。この矛盾に説明してほしい。州ももっと説明してほしい。商業関係者からの強い反発を受けそうなのは、商業関係者とのあつれいを作らないためにも、今回の規制はできるだけ2週間、終わってほしい」と語る。

「しかし、それにしてもアヤは確かに変な外人だね。そのことは間違いないよ」

「ああ、そんなに私に同調することはないでしょう。こう見えても私、少しは遠慮してものを言っているつもりですけど。変だ、変だといわれると何だか気が滅入ってくるわ」

「アッハハハ、アヤがそれぐらいのこと滅入るなんてあり得ないよ。そんな軟弱な性格でないことは、この僕がとっくに知っているよ」

その心の強さは並みのものではないからね。そういう強さに、僕は惹かれたといつもいよ。ところでこれは、ちよつと真面目な話になるけど、アヤの持つその強さは一体、どこから来るものだろうか、僕は時々考えることがある。

アヤを見てると何となく、あまり後ろを振り返らないというところがある、いつも現在から将来へのことを考えていて、そこだけに集中するというか、それしか興味がないというふうに見えるね。

もちろんそれは、僕の勝手な見方かもしれないけど、少なくとも君は過去にこだわって、それを引きずっているというふうな生き方はしていない。それはね、他の日本から移民して来た人たちを見ていても、その差がはっきりしているね。

まあ、外国から移民してきた人たちにとっては、自分たちの国へのこだわりが非常に大きなものだということは、僕にも想像できるし、望郷というのかな、自分たちが生まれ育った国に対する愛着とか執着がいつまでも振り切れない形で残っていくものだというところも分かる気がする。

そのことは日本人だけじゃなくて、僕の知っているポランドとかハンガリーとか東ヨーロッパから来ている移民の人たちにも同じように見られるものだからね。

つまりそれは、移民の人たちの中では常識のようなものになっているといえるのじゃないかな。それだけ、国を変えるということとは大変なことだということを、そういうところを見ていると感ずるね。

僕は、このブラジルという国から一度も外へ出たことがないから、そのことを本当に理解せよといわれても、ちよつと無理な話だけど、でも、そういう人たちを間近で見ていると、何かその辺りのことがおぼろげながら分かるような気分にはなるね。ところが、アヤを見てると、その部分が全然見えて来ないんだ。そういう、故国を懐かしむとか、母国への望郷の念というふうな心情的なものも、まるで見当たらないという感じだねアヤの場合は、僕にとって不思議なのは、なぜ君にはそれがないのかということだね。

いや、実際は心の中にそれはあるのだけれど、それを表に出さないで平然としていられるというところが、僕にとっては一種の謎のように見えるね。謎多き女、アヤ。そんな不思議さが君にはある」

「ちよつと待つてよマルコス。それではまるで私は、別世界から来た、謎に包まれた未知の女というふうなことになるわ。まあね、空想の産物としては面白いですよけど、それはあなたの考えすぎというもので。それでは、かなり現実離れした、架空の物語ということになってしまうわね」

こう見ても私は、ちゃんと血も涙もあり感情もある、まともな人間ですからね。そんな得体の知れないような、謎の生物だなんてことはありませぬ」

## パラナ州 日伯の子供つなぐ交流画展

### 兵庫県伯国事務所が表彰式

タケグマさんは兵庫県ブラジル事務所が表彰状を受け取った。永田所長は「この様な草の根の活動の支援を続けていこう」と感想を述べた。

表彰式の様子、カレンダーの画像は以下フェイスブックから見ることができ(1=shorturl.at/NSU12/2=shorturl.at/BU11)

「向こう2週間」としたことも賢明だと思つた。この緊急支援金さえ昨年ほど出せないことがわかっていける。健康も大事だが、金があれば生活は無理だ。ただ、「2週間」に限ると、学校や教会も同様中止すべきだった。

「うちの店は入場者を少なく規制して、社会的距離も守りつつ営業している。それなのになぜ自分たちが営業中止にならなければならないのか。何倍も人が集まる学校や教会が許されるのか。この矛盾に説明してほしい。州ももっと説明してほしい。商業関係者からの強い反発を受けそうなのは、商業関係者とのあつれいを作らないためにも、今回の規制はできるだけ2週間、終わってほしい」と語る。

「しかし、それにしてもアヤは確かに変な外人だね。そのことは間違いないよ」

「ああ、そんなに私に同調することはないでしょう。こう見えても私、少しは遠慮してものを言っているつもりですけど。変だ、変だといわれると何だか気が滅入ってくるわ」

「アッハハハ、アヤがそれぐらいのこと滅入るなんてあり得ないよ。そんな軟弱な性格でないことは、この僕がとっくに知っているよ」

その心の強さは並みのものではないからね。そういう強さに、僕は惹かれたといつもいよ。ところでこれは、ちよつと真面目な話になるけど、アヤの持つその強さは一体、どこから来るものだろうか、僕は時々考えることがある。

アヤを見てると何となく、あまり後ろを振り返らないというところがある、いつも現在から将来へのことを考えていて、そこだけに集中するというか、それしか興味がないというふうに見えるね。

もちろんそれは、僕の勝手な見方かもしれないけど、少なくとも君は過去にこだわって、それを引きずっているというふうな生き方はしていない。それはね、他の日本から移民して来た人たちを見ていても、その差がはっきりしているね。

まあ、外国から移民してきた人たちにとっては、自分たちの国へのこだわりが非常に大きなものだということは、僕にも想像できるし、望郷というのかな、自分たちが生まれ育った国に対する愛着とか執着がいつまでも振り切れない形で残っていくものだというところも分かる気がする。

そのことは日本人だけじゃなくて、僕の知っているポランドとかハンガリーとか東ヨーロッパから来ている移民の人たちにも同じように見られるものだからね。

つまりそれは、移民の人たちの中では常識のようなものになっているといえるのじゃないかな。それだけ、国を変えるということとは大変なことだということを、そういうところを見ていると感ずるね。

僕は、このブラジルという国から一度も外へ出たことがないから、そのことを本当に理解せよといわれても、ちよつと無理な話だけど、でも、そういう人たちを間近で見ていると、何かその辺りのことがおぼろげながら分かるような気分にはなるね。ところが、アヤを見てると、その部分が全然見えて来ないんだ。そういう、故国を懐かしむとか、母国への望郷の念というふうな心情的なものも、まるで見当たらないという感じだねアヤの場合は、僕にとって不思議なのは、なぜ君にはそれがないのかということだね。

いや、実際は心の中にそれはあるのだけれど、それを表に出さないで平然としていられるというところが、僕にとっては一種の謎のように見えるね。謎多き女、アヤ。そんな不思議さが君にはある」

「ちよつと待つてよマルコス。それではまるで私は、別世界から来た、謎に包まれた未知の女というふうなことになるわ。まあね、空想の産物としては面白いですよけど、それはあなたの考えすぎというもので。それでは、かなり現実離れした、架空の物語ということになってしまうわね」

こう見ても私は、ちゃんと血も涙もあり感情もある、まともな人間ですからね。そんな得体の知れないような、謎の生物だなんてことはありませぬ」

バンデミックにもめげず、兵庫県ブラジル事務所(永田展之所長)は昨年8月10日にかけて、NPO法人関西ブラジル人コミュニティCBKと公益財団法人兵庫県国際交流協会が共催し、「第11回ブラジル・日本の子供の絵交流展」を開催し、その表彰式が日本とパラナで行われた。

州ロンドリーナ市では1月31日に、同州クリチバ市では2月5日に行われた。表彰式には西森ルイス連邦議員と在クリチバ日本総領事館の高木昌弘総領事が参加。共に「子供達にとって、いい経験になっただろう。日本との交流を考えると、いさかか作られたと称賛した。絵の募集に協力した



家族で記念写真を撮った授賞者

表彰式の様子、カレンダーの画像は以下フェイスブックから見ることができ(1=shorturl.at/NSU12/2=shorturl.at/BU11)

「向こう2週間」としたことも賢明だと思つた。この緊急支援金さえ昨年ほど出せないことがわかっていける。健康も大事だが、金があれば生活は無理だ。ただ、「2週間」に限ると、学校や教会も同様中止すべきだった。

「うちの店は入場者を少なく規制して、社会的距離も守りつつ営業している。それなのになぜ自分たちが営業中止にならなければならないのか。何倍も人が集まる学校や教会が許されるのか。この矛盾に説明してほしい。州ももっと説明してほしい。商業関係者からの強い反発を受けそうなのは、商業関係者とのあつれいを作らないためにも、今回の規制はできるだけ2週間、終わってほしい」と語る。

「しかし、それにしてもアヤは確かに変な外人だね。そのことは間違いないよ」

「ああ、そんなに私に同調することはないでしょう。こう見えても私、少しは遠慮してものを言っているつもりですけど。変だ、変だといわれると何だか気が滅入ってくるわ」

「アッハハハ、アヤがそれぐらいのこと滅入るなんてあり得ないよ。そんな軟弱な性格でないことは、この僕がとっくに知っているよ」

その心の強さは並みのものではないからね。そういう強さに、僕は惹かれたといつもいよ。ところでこれは、ちよつと真面目な話になるけど、アヤの持つその強さは一体、どこから来るものだろうか、僕は時々考えることがある。

アヤを見てると何となく、あまり後ろを振り返らないというところがある、いつも現在から将来へのことを考えていて、そこだけに集中するというか、それしか興味がないというふうに見えるね。

もちろんそれは、僕の勝手な見方かもしれないけど、少なくとも君は過去にこだわって、それを引きずっているというふうな生き方はしていない。それはね、他の日本から移民して来た人たちを見ていても、その差がはっきりしているね。

まあ、外国から移民してきた人たちにとっては、自分たちの国へのこだわりが非常に大きなものだということは、僕にも想像できるし、望郷というのかな、自分たちが生まれ育った国に対する愛着とか執着がいつまでも振り切れない形で残っていくものだというところも分かる気がする。

そのことは日本人だけじゃなくて、僕の知っているポランドとかハンガリーとか東ヨーロッパから来ている移民の人たちにも同じように見られるものだからね。

つまりそれは、移民の人たちの中では常識のようなものになっているといえるのじゃないかな。それだけ、国を変えるということとは大変なことだということを、そういうところを見ていると感ずるね。

僕は、このブラジルという国から一度も外へ出たことがないから、そのことを本当に理解せよといわれても、ちよつと無理な話だけど、でも、そういう人たちを間近で見ていると、何かその辺りのことがおぼろげながら分かるような気分にはなるね。ところが、アヤを見てると、その部分が全然見えて来ないんだ。そういう、故国を懐かしむとか、母国への望郷の念というふうな心情的なものも、まるで見当たらないという感じだねアヤの場合は、僕にとって不思議なのは、なぜ君にはそれがないのかということだね。

いや、実際は心の中にそれはあるのだけれど、それを表に出さないで平然としていられるというところが、僕にとっては一種の謎のように見えるね。謎多き女、アヤ。そんな不思議さが君にはある」

「ちよつと待つてよマルコス。それではまるで私は、別世界から来た、謎に包まれた未知の女というふうなことになるわ。まあね、空想の産物としては面白いですよけど、それはあなたの考えすぎというもので。それでは、かなり現実離れした、架空の物語ということになってしまうわね」

こう見ても私は、ちゃんと血も涙もあり感情もある、まともな人間ですからね。そんな得体の知れないような、謎の生物だなんてことはありませぬ」

**Dr. MONICA Y. MORISHITA** 電気鍼療法 磁石による治療 体重減少にも効果的

Biomedica 生物医学

Pós-Graduação em Acupuntura 大学院で針灸学を専攻いたしました

LOCAL: Rua Thomaz Gonzaga, 95 - M (Iwate-Kenjinkai) Liberdade - São Paulo - SP (perto do metrô Liberdade)

CONTATO: (11) 99236-3956 "Recado no WhatsApp"

E-mail: monicamorishita@yahoo.com.br

訂正

2日付本面記事「文協」評議員選挙の候補者決定「郵便投票」3月26日まで」に誤りがあつた。記事中の立候補者名に大西サオとあつたが、「尾西貞夫」の間違ひ。原文がローマ字表記だったため、漢字化するときに間違えたもの。お詫びの上、訂正する。

訂正

4日付の4面「小斎子選」ニッケイ伊壇」に

訂正

「道」金澤翔子の道」展

「道」金澤翔子の道」展は4月25日まで延期すると発表された。

3月10日(水)午後7時にはYouTubeで「日本の書道」女性の間で「一」を配信。サンパウロ連邦大学(UNIFESP)の岡野道子教授や、サンパウロ総合大学(USP)のネイデ・ヒサエ・ナカエ教授、日系ブラジル人アーティストのカタリーナ・グシケンさんが出演。平安時代の文字を通して日本語の文字体系の1つである「書」の発展における女性の関わりや、日本書道が現代美術にどのような影響を与えたかを語り合う。

サンパウロ市のジャハン・ハウス(J.H. エリック・アレシンドレ・クルック館長)は2月2日から地上階(GE)で開催されている「DO(道)」。金澤翔子の道」展を4月25日まで延期すると発表された。

「向こう2週間」としたことも賢明だと思つた。この緊急支援金さえ昨年ほど出せないことがわかっていける。健康も大事だが、金があれば生活は無理だ。ただ、「2週間」に限ると、学校や教会も同様中止すべきだった。

「うちの店は入場者を少なく規制して、社会的距離も守りつつ営業している。それなのになぜ自分たちが営業中止にならなければならないのか。何倍も人が集まる学校や教会が許されるのか。この矛盾に説明してほしい。州ももっと説明してほしい。商業関係者からの強い反発を受けそうなのは、商業関係者とのあつれいを作らないためにも、今回の規制はできるだけ2週間、終わってほしい」と語る。

「しかし、それにしてもアヤは確かに変な外人だね。そのことは間違いないよ」

「ああ、そんなに私に同調することはないでしょう。こう見えても私、少しは遠慮してものを言っているつもりですけど。変だ、変だといわれると何だか気が滅入ってくるわ」

「アッハハハ、アヤがそれぐらいのこと滅入るなんてあり得ないよ。そんな軟弱な性格でないことは、この僕がとっくに知っているよ」

その心の強さは並みのものではないからね。そういう強さに、僕は惹かれたといつもいよ。ところでこれは、ちよつと真面目な話になるけど、アヤの持つその強さは一体、どこから来るものだろうか、僕は時々考えることがある。

アヤを見てると何となく、あまり後ろを振り返らないというところがある、いつも現在から将来へのことを考えていて、そこだけに集中するというか、それしか興味がないというふうに見えるね。

もちろんそれは、僕の勝手な見方かもしれないけど、少なくとも君は過去にこだわって、それを引きずっているというふうな生き方はしていない。それはね、他の日本から移民して来た人たちを見ていても、その差がはっきりしているね。

まあ、外国から移民してきた人たちにとっては、自分たちの国へのこだわりが非常に大きなものだということは、僕にも想像できるし、望郷というのかな、自分たちが生まれ育った国に対する愛着とか執着がいつまでも振り切れない形で残っていくものだというところも分かる気がする。

そのことは日本人だけじゃなくて、僕の知っているポランドとかハンガリーとか東ヨーロッパから来ている移民の人たちにも同じように見られるものだからね。

つまりそれは、移民の人たちの中では常識のようなものになっているといえるのじゃないかな。それだけ、国を変えるということとは大変なことだということを、そういうところを見ていると感ずるね。

僕は、このブラジルという国から一度も外へ出たことがないから、そのことを本当に理解せよといわれても、ちよつと無理な話だけど、でも、そういう人たちを間近で見ていると、何かその辺りのことがおぼろげながら分かるような気分にはなるね。ところが、アヤを見てると、その部分が全然見えて来ないんだ。そういう、故国を懐かしむとか、母国への望郷の念というふうな心情的なものも、まるで見当たらないという感じだねアヤの場合は、僕にとって不思議なのは、なぜ君にはそれがないのかということだね。

いや、実際は心の中にそれはあるのだけれど、それを表に出さないで平然としていられるというところが、僕にとっては一種の謎のように見えるね。謎多き女、アヤ。そんな不思議さが君にはある」

「ちよつと待つてよマルコス。それではまるで私は、別世界から来た、謎に包まれた未知の女というふうなことになるわ。まあね、空想の産物としては面白いですよけど、それはあなたの考えすぎというもので。それでは、かなり現実離れした、架空の物語ということになってしまうわね」

こう見ても私は、ちゃんと血も涙もあり感情もある、まともな人間ですからね。そんな得体の知れないような、謎の生物だなんてことはありませぬ」



「向こう2週間」としたことも賢明だと思つた。この緊急支援金さえ昨年ほど出せないことがわかっていける。健康も大事だが、金があれば生活は無理だ。ただ、「2週間」に限ると、学校や教会も同様中止すべきだった。

「うちの店は入場者を少なく規制して、社会的距離も守りつつ営業している。それなのになぜ自分たちが営業中止にならなければならないのか。何倍も人が集まる学校や教会が許されるのか。この矛盾に説明してほしい。州ももっと説明してほしい。商業関係者からの強い反発を受けそうなのは、商業関係者とのあつれいを作らないためにも、今回の規制はできるだけ2週間、終わってほしい」と語る。

「しかし、それにしてもアヤは確かに変な外人だね。そのことは間違いないよ」

「ああ、そんなに私に同調することはないでしょう。こう見えても私、少しは遠慮してものを言っているつもりですけど。変だ、変だといわれると何だか気が滅入ってくるわ」

「アッハハハ、アヤがそれぐらいのこと滅入るなんてあり得ないよ。そんな軟弱な性格でないことは、この僕がとっくに知っているよ」

その心の強さは並みのものではないからね。そういう強さに、僕は惹かれたといつもいよ。ところでこれは、ちよつと真面目な話になるけど、アヤの持つその強さは一体、どこから来るものだろうか、僕は時々考えることがある。

アヤを見てると何となく、あまり後ろを振り返らないというところがある、いつも現在から将来へのことを考えていて、そこだけに集中するというか、それしか興味がないというふうに見えるね。

もちろんそれは、僕の勝手な見方かもしれないけど、少なくとも君は過去にこだわって、それを引きずっているというふうな生き方はしていない。それはね、他の日本から移民して来た人たちを見ていても、その差がはっきりしているね。

まあ、外国から移民してきた人たちにとっては、自分たちの国へのこだわりが非常に大きなものだということは、僕にも想像できるし、望郷というのかな、自分たちが生まれ育った国に対する愛着とか執着がいつまでも振り切れない形で残っていくものだというところも分かる気がする。

そのことは日本人だけじゃなくて、僕の知っているポランドとかハンガリーとか東ヨーロッパから来ている移民の人たちにも同じように見られるものだからね。

つまりそれは、移民の人たちの中では常識のようなものになっているといえるのじゃないかな。それだけ、国を変えるということとは大変なことだということを、そういうところを見ていると感ずるね。

僕は、このブラジルという国から一度も外へ出たことがないから、そのことを本当に理解せよといわれても、ちよつと無理な話だけど、でも、そういう人たちを間近で見ていると、何かその辺りのことがおぼろげながら分かるような気分にはなるね。ところが、アヤを見てると、その部分が全然見えて来ないんだ。そういう、故国を懐かしむとか、母国への望郷の念というふうな心情的なものも、まるで見当たらないという感じだねアヤの場合は、僕にとって不思議なのは、なぜ君にはそれがないのかということだね。

いや、実際は心の中にそれはあるのだけれど、それを表に出さないで平然としていられるというところが、僕にとっては一種の謎のように見えるね。謎多き女、アヤ。そんな不思議さが君にはある」

「ちよつと待つてよマルコス。それではまるで私は、別世界から来た、謎に包まれた未知の女というふうなことになるわ。まあね、空想の産物としては面白いですよけど、それはあなたの考えすぎというもので。それでは、かなり現実離れした、架空の物語ということになってしまうわね」

こう見ても私は、ちゃんと血も涙もあり感情もある、まともな人間ですからね。そんな得体の知れないような、謎の生物だなんてことはありませぬ」

訂正

「道」金澤翔子の道」展

「道」金澤翔子の道」展は4月25日まで延期すると発表された。

3月10日(水)午後7時にはYouTubeで「日本の書道」女性の間で「一」を配信。サンパウロ連邦大学(UNIFESP)の岡野道子教授や、サンパウロ総合大学(USP)のネイデ・ヒサエ・ナカエ教授、日系ブラジル人アーティストのカタリーナ・グシケンさんが出演。平安時代の文字を通して日本語の文字体系の1つである「書」の発展における女性の関わりや、日本書道が現代美術にどのような影響を与えたかを語り合う。

サンパウロ市のジャハン・ハウス(J.H. エリック・アレシンドレ・クルック館長)は2月2日から地上階(GE)で開催されている「DO(道)」。金澤翔子の道」展を4月25日まで延期すると発表された。

「向こう2週間」としたことも賢明だと思つた。この緊急支援金さえ昨年ほど出せないことがわかっていける。健康も大事だが、金があれば生活は無理だ。ただ、「2週間」に限ると、学校や教会も同様中止すべきだった。

「うちの店は入場者を少なく規制して、社会的距離も守りつつ営業している。それなのになぜ自分たちが営業中止にならなければならないのか。何倍も人が集まる学校や教会が許されるのか。この矛盾に説明してほしい。州ももっと説明してほしい。商業関係者からの強い反発を受けそうなのは、商業関係者とのあつれいを作らないためにも、今回の規制はできるだけ2週間、終わってほしい」と語る。

「しかし、それにしてもアヤは確かに変な外人だね。そのことは間違いないよ」

「ああ、そんなに私に同調することはないでしょう。こう見えても私、少しは遠慮してものを言っているつもりですけど。変だ、変だといわれると何だか気が滅入ってくるわ」

「アッハハハ、アヤがそれぐらいのこと滅入るなんてあり得ないよ。そんな軟弱な性格でないことは、この僕がとっくに知っているよ」

その心の強さは並みのものではないからね。そういう強さに、僕は惹かれたといつもいよ。ところでこれは、ちよつと真面目な話になるけど、アヤの持つその強さは一体、どこから来るものだろうか、僕は時々考えることがある。

アヤを見てると何となく、あまり後ろを振り返らないというところがある、いつも現在から将来へのことを考えていて、そこだけに集中するというか、それしか興味がないというふうに見えるね。

もちろんそれは、僕の勝手な見方かもしれないけど、少なくとも君は過去にこだわって、それを引きずっているというふうな生き方はしていない。それはね、他の日本から移民して来た人たちを見ていても、その差がはっきりしているね。

まあ、外国から移民してきた人たちにとっては、自分たちの国へのこだわりが非常に大きなものだということは、僕にも想像できるし、望郷というのかな、自分たちが生まれ育った国に対する愛着とか執着がいつまでも振り切れない形で残っていくものだというところも分かる気がする。

そのことは日本人だけじゃなくて、僕の知っているポランドとかハンガリーとか東ヨーロッパから来ている移民の人たちにも同じように見られるものだからね。

つまりそれは、移民の人たちの中では常識のようなものになっているといえるのじゃないかな。それだけ、国を変えるということとは大変なことだということを、そういうところを見ていると感ずるね。

僕は、このブラジルという国から一度も外へ出たことがないから、そのことを本当に理解せよといわれても、ちよつと無理な話だけど、でも、そういう人たちを間近で見ていると、何かその辺りのことがおぼろげながら分かるような気分にはなるね。ところが、アヤを見てると、その部分が全然見えて来ないんだ。そういう、故国を懐かしむとか、母国への望郷の念というふうな心情的なものも、まるで見当たらないという感じだねアヤの場合は、僕にとって不思議なのは、なぜ君にはそれがないのかということだね。

いや、実際は心の中にそれはあるのだけれど、それを表に出さないで平然としていられるというところが、僕にとっては一種の謎のように見えるね。謎多き女、アヤ。そんな不思議さが君にはある」

「ちよつと待つてよマルコス。それではまるで私は、別世界から来た、謎に包まれた未知の女というふうなことになるわ。まあね、空想の産物としては面白いですよけど、それはあなたの考えすぎというもので。それでは、かなり現実離れした、架空の物語ということになってしまうわね」

こう見ても私は、ちゃんと血も涙もあり感情もある、まともな人間ですからね。そんな得体の知れないような、謎の生物だなんてことはありませぬ」

訂正

4日付の4面「小斎子選」ニッケイ伊壇」に

小説 クリスト・レイ

中島宏

(124)



特別寄稿 新移民の頃の事も

サンパウロ市 村上 佳和



神戸市立海外移住と文化の交流センター「移住ミュージアム」に展示されている当時のポスター

「行け行け南米新天地」のポスターを見て

八十歳を迎え、移住してより、六十年。世界中がコロナ禍で旅行も出...

レベルが高い花嫁たち

一九六〇年三月高...

話をして教養のレベルも高く、どうしてこんな...

一晩かけて、サンパウロ近郊エンブーの農場へ...

呼び寄せ、日系農家の後継者を育てる為、四年間...

パトロンの中には、新来青年を「この馬の骨か...

北アライで実地研修

一年程した頃、五十日...

「共同」障害者雇用促進法に基づき、企業に義...

特性生かす職場に働きがい 気配りで安心感、心地よさ

【共同】障害者雇用促進法に基づき、企業に義...

「行け行け南米新天地」のポスターを見て

た。移住してはなかったら、渡航費は五年...

ハッコを擦してくれた。今でもこの言は重く大...

なつたと感激した。あんなに感傷した。あんなに...

話をして教養のレベルも高く、どうしてこんな...

一晩かけて、サンパウロ近郊エンブーの農場へ...

呼び寄せ、日系農家の後継者を育てる為、四年間...

パトロンの中には、新来青年を「この馬の骨か...

北アライで実地研修

一年程した頃、五十日...

「共同」障害者雇用促進法に基づき、企業に義...

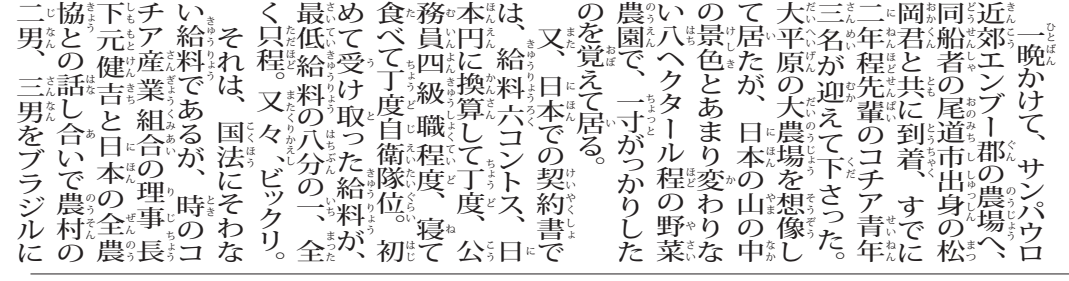
特性生かす職場に働きがい 気配りで安心感、心地よさ

【共同】障害者雇用促進法に基づき、企業に義...

電力(高松市)が出資を検討していることが4日...



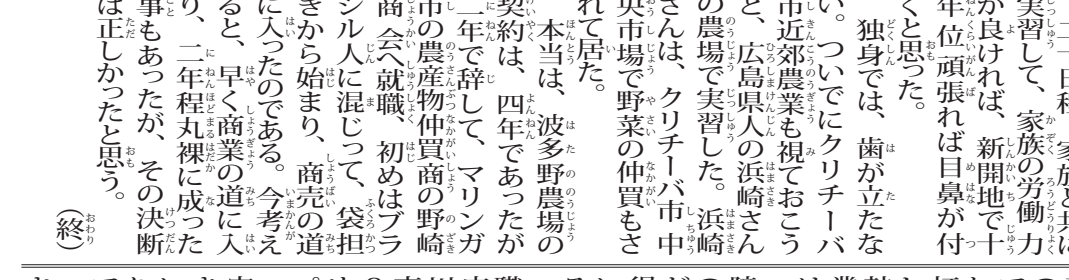
一九六六年、広島県から4人の花嫁がアルゼンチナ丸で到着。4人をリオまで出迎える、コロバード、ボン...



大阪商船サントス丸



河野外務大臣(当時)と村上夫妻



一九六一年、パラナ州北西部を視察。体験旅行をした時、時のコヒー王柘磨氏と綿畑で

四国電が石炭火力出資検討

脱炭素加速の潮流に逆行

【共同】三菱商事などが計画するベトナムの石炭火力発電事業に、四国電が石炭火力出資を検討していることが4日...

パナマに向かって南下する時、左舷はるかかなたにメキシコの秀山が...

山脈を見ながら、甲板で剣道の練習をしたり、売店では無税なので、特級酒で同船者の気が合った...

カリブ海に入ると、クリストバル島とキュラソー島に寄港して、町を...

パトロンの中には、新来青年を「この馬の骨か解らんやつに娘を...

新来青年の出世の一番早い方法は、パトロンの娘をものにする事であ...

北アライで実地研修

一年程した頃、五十日...

【共同】障害者雇用促進法に基づき、企業に義務付けられる法定雇用率...

特性生かす職場に働きがい 気配りで安心感、心地よさ

【共同】三菱商事などが計画するベトナムの石炭火力発電事業に、四国電が石炭火力出資を検討していることが4日...



